

選択2022参院選

わが党かく戦う

岸田文雄政権の評価は。

安倍・菅政権と比べてソフトな印象で、世論調査では一定の支持を維持している。だが、積極財政を掲げるわが党にとっては物足りなさがある。新型コロナウイルス禍からの経済回復を進め、物価高騰を乗り越えようというこの時期に、プライマリバランス（基礎的財政収支）の黒字化を目指す姿勢を続けていることには違和感がある。

国民民主党は2022年度予算に賛成し、与党寄りと言われた。政策本位で取り組んだ

⑤ 国民民主党県連

高橋 徹幹事長



結果と考えている。党の対応に政策実現に向け、与野党を問わずにテーマごとに連携してきた。燃油価格高騰対策では自民、公明両党との協議に加わり、補助の拡充につなげるこ

果も得ている。

何を訴えるか。

一番は経済対策だ。積極財政によって労働需要を喚起し、給料が上がる

積極財政で給料増へ

環境をつくる。物価高かで、民間事業者のみで採算が取れない場合は公的「インフレ手当」の給付も主張していく。人への投資とあってもいいのではない

か。参院選を通じて議論が深まってほしい。

岡山選挙区は無所属候補を推薦して臨む。

党独自に候補を立てる

利用が低迷するJRローカル線を含めた公共交通の在り方が注目されている。

地方にとって重要な問題だ。人口減少に応じたダウンサイジング（縮小）は必要となるだろう。

一方で、国として一定のサイプレスレベルを保つため、比例票の掘り起こしのルールをつくった上にもつなげたい。

岡山県民生活